

## 2. 奨励品種の特性

## (1) 春夏作飼料作物

## ①とうもろこし

品 種 名	早晩性	相対 熟度	特 性
パイオニア115日	早 生	115	乾物収量が中生種並に高い。乾物雌穂重割合が安定して高く、TDN収量、TDN割合が高い。二期作の一作目に適する。
ゴールドデントKD670	早 生	117	早生品種の中で乾物収量および乾物雌穂重割合が高く、耐倒伏性に優れる。二期作の一作目および普通作に適する。
パイオニア112日	早 生	112	収量性高い。不稔割合が低く、乾物穂重割合が高い。耐病性、耐倒伏性も高い。
スーパーデント1157ラミス	早 生	115	不稔割合が少なく、乾物穂重割合、乾物収量が高い。耐病性、耐倒伏性も高い。
ロイヤルデント110	早 生	110	乾物率が高く、乾物収量はパイオニア115日と同程度である。
ゴールドデントKD720	早中生	122	折損、倒伏および病害の発生が少なく、乾物収量が高い。
NS118	早中生	118	KD720に比べて、稈長が長く、乾物収量が高い。倒伏、折損に強く、不稔率が低い。
クミアイデント123	早中生	123	KD720に比べて、乾物雌穂重割合および乾物収量が高い。
ゆめそだち	中 生	125	乾物収量が中生並に高い。乾物雌穂重割合が安定して高く、TDN収量、TDN割合が高い。
パイオニア125	中 生	125	ゆめそだちに比べて、稈長が長く、乾物雌穂重割合が低いものの、乾物収量が高い。
ゆめつよし	中晩生	127	耐折損性にやや欠けるが、倒伏に強く、不稔率が低い。乾物雌穂重割合が高く、乾物収量は年次間差が少ない。
クミアイデント127N	中晩生	128	乾物雌穂割合がやや低いものの、乾物収量についてはゆめつよしと同程度。
パイオニア127日	遅播 二期作 (二作目)	127	遅播きで良好な収量が得られ、ごま葉枯病、さび病、南方さび病に極めて強い。耐倒伏性も高く、遅播き用の品種である。

パイオニア135日	遅播 二期作 (二作目)	135	南方さび病についてはTX128並に強く、耐倒伏性もある。年次により不稔がみられるものの乾物穂重割合は高く、乾物収量も非常に高い。
ゴールドデントKD772 スーパー	遅まき	130	耐倒伏性、耐折損性、耐病性に優れ、雌穂の不稔割合が低く安定した収量が得られる。二期作(二作目)には適さない。

## ②ソルガム

品 種 名	早晩性	特 性
キングソルゴー	早 生	初期生育旺盛、草丈高い、多葉、再生力、分けつ大。
スズホ	早 生	乾物、穂重割合高く、サイレージ向き。
BMRスイート※	早中生	リグニン含量が少ない高消化性品種であるが、倒伏には強い。
高糖分ソルゴー	中 生	草丈、稈茎共にやや大型。耐倒伏性は高く、機械刈が容易で収穫作業がしやすい。
スーパーシュガースルゴー	晩 生	糖分含量高く、サイレージ向き、晩播適応性あり。
ナゴハイブリットソルゴー	晩 生	太茎、多葉型で多収、耐病性強い。
ビッグシュガースルゴー	極晩生	極長稈、乾物多収、夏播きに適す。

注) 「※」は当面の間、推奨品種として取り扱う。

## ③スーダングラス

品 種 名	早晩性	特 性
ヘイスーダン	早 生	極細茎、分けつ多く再生力旺盛で多回刈に適、安定多収型。
HIRO-1	早 生	安定した収量が見込め、耐倒伏性に優れる。
ベールスーダン	中 生	初期生育に優れ、病害が少なく、多収。

## ④青刈大豆

品 種 名	早晩性	特 性
黒 千 石	晩 生	安定した生育と収量を示す。草丈は直位性で蔓化型。

## (2) 秋冬作飼料作物

## ① イタリアンライグラス

品 種 名	早晩性	特 性
ミナミアオバ	極早生	草型は直立型である。早播き（9月中旬）による増収効果が大きく、年内収穫が可能。また、冠さび病抵抗性が強い。
メリット	極早生	初期生育良好で草丈が高い。ミナミアオバより乾物率および乾物収量が高い。
さちあおば	極早生	いもち病抵抗性が強く、9月上旬播種が可能である。年内刈取り時の収量が高く、耐倒伏性に優れている。冠さび病抵抗性も強い。晩夏播きによるえん麦との混播が可能である。極早生の中で出穂が1番早い。
ハナミワセ	極早生	出穂はミナミアオバよりも早い。再生および耐倒伏性が良好であり、乾物率、乾物収量が高い。
ワセユタカ	早 生	収量は他の早生品種と同等であるが、倒伏に弱い傾向がある。
ワセアオバ	早 生	他の早生品種に比べて、初期早勢がやや劣るが、収量はほぼ同等である。
タチワセ	早 生	直立型で倒伏に強く、乾物収量も安定している。乾草用に適する。
タチマサリ	早 生	直立型で草丈が高いが、倒伏に強い。乾物収量はワセユタカ、タチワセと同等。
タチムシャ	中 生	直立型で倒伏に強く、年内刈りから春一番までの乾物収量が高い。
ジャイアント	中晩生	広葉で収量性が高い。再生も良好で放牧利用にも適する。
マンモスB	中晩生	広葉で収量性が高く、倒伏し易い。
ヒタチヒカリ	中晩生	やや直立型で広葉で再生および耐倒伏性が良好である。長期利用に適し、高い収量性を維持する。

②えん麦

品 種 名	早晚性	特 性
スパーハヤテ「隼」	極早生	極早生品種の中で出穂が最も早く、晩夏播きで年内に登熟が可能。耐倒伏性にややかけるが、乾物収量が高い。
スピードスロー	極早生	出穂が早く、晩夏播きで年内に登熟する。乾物収量がやや低い。
はえいぶき	極早生	極早生品種の中で茎数が多く、倒伏に強い。晩夏播きで年内に登熟が可能。
たちいぶき	極早生	生草収量はスパーハヤテ「隼」よりやや高い。茎数が多く倒伏に強い。
ニューウエスト	極早生	乾物収量、草丈ともにスパーハヤテ「隼」と同程度。倒伏については若干強い。
前進	中晩生	中晩生で出穂が遅いことから、春季遅い時期の利用に適する。また、春季にさび病が発生する。

③飼料用大麦

品 種 名	特 性
ワセドリ2条	年内に糊熟期に達し、晩夏播きで年内ホルロップサイレージが可能である。
ニシノチカラ	秋播きで高収量が得られ、耐病性に優れており、うどんこ病に極めて強い。

(3) イネ科牧草

①ローズグラス

品 種 名	早晚性	特 性
アサツユ	早 生	カタンボラよりも低温伸長性が高いため、初期草勢が良好で、秋季の乾物収量が高い。ほふく茎数が少ないため、草型は直立型である。軽度の降霜地帯では越冬する。
カタンボラ	中 生	日長感応性が高いため、出穂は秋季に多くみられる。ほふく茎数が多く、草型はほふく型である。夏季の乾物収量が高い。

②ギニアグラス

品 種 名	特 性
ナツカゼ	出穂が遅く、稈は太く、葉幅広く長大型の多収型で踏圧に弱い。
ナツコマキ	極早生で初期生育はナツカゼ並。茎数が非常に多い。機械による踏圧に強く、2番草以降の収量が高い。

### ③バヒアグラス

品 種 名	特 性
ナンゴク	2倍体で葉幅が細い。越冬後の春の伸長性が良好で、長期利用でも収量性に富む。
ナンオウ	4倍体でナンゴクよりも葉幅が広い。採食性は良好だが、春の萌芽が遅い。夏季の乾物収量が高い。
ペンサコラ※	2倍体で葉長が長く、葉幅が狭い。低温伸長性が良好。出穂茎が多いため嗜好性がやや劣る。

注) 「※」は当面の間、推奨品種として取り扱う。

### ④トールフェスク

品種名	早晩性	草 型	再生力	冠さび病	耐暑性
サザンクロス	中 生	叢(そう)生	良	強	強

### ⑤オーチャードグラス

品 種 名	早晩性	草 型	再生力	冠さび病	耐暑性	耐寒性
ナツミドリ	早 生	叢 生	極 良	強	強	強
アキミドリII ※	極早生	叢 生	極 良	強	強	やや強

注1) 「※」は当面の間、推奨品種として取り扱う。

注2) アキミドリIIは外傷病抵抗性品種

### ⑥青刈ヒエ類

品 種 名	早晩性	特 性
青葉ミレット※	中 生	草丈が高く、多収、耐湿性が強い。
グリーンミレット中生※	中 生	耐湿性が強く、乾物収量が高い。

注) 「※」は当面の間、推奨品種として取り扱う。